PXHACM24/PXHACM44

自動測色器マウンタ(24)/(44)

ユーザーズガイド

本書は、本製品の使用方法、メンテナンス方法、トラブル対処法などを説明しています。
目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD4136-00 JA

マークの意味

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本製品、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.5 の画面を使用しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

Mac OS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft, Windows, Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について - 注意 -

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の廃棄

一般の家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事務所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

もくじ

安全上のご注意

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。
	濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	アース接続して使用することを示しています。

設置上のご注意

⚠注意	
	不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落下によりけがをするおそれがあります。また、本製品が正しく動作しなくなるおそれがあります。
	油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

⚠注意	
	本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。 他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。 本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。 ☞ 本書 13 ページ「マウンタの取り外し方」

取り扱い上のご注意

⚠警告	
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
	お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。
	各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。
	製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。
	開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠注意	
	本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。
	各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。

⚠注意

本製品を移動する際は、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

自動測色器マウンタ（24）/（44）のメンテナンスを行う際は、電源コードを外してから作業を行ってください。
感電のおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

次のような場所にアース線を接続しないでください。

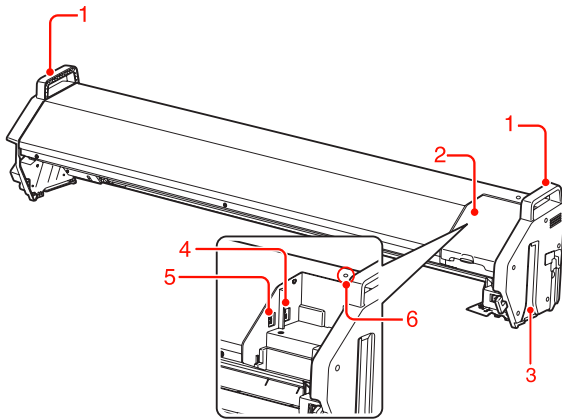
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名称と働き

自動測色器マウンタ

マウンタ(正面)

1. 取っ手
マウンタの取り付けまたは取り外し時につかむ場所です。

> **! 重要**
> 取っ手をつかんでプリンタ本体を移動しないでください。

2. カバー
測色器の取り付け、取り外し、ケーブルの接続時に開閉します。

3. 装着ガイド用溝(左 / 右)
プリンタに取り付けるときに装着ガイドと合わせます。

4. 自動巻き取りユニット接続用コネクタ(自動測色器マウンタ(44)のみ)
マウンタに自動巻き取りユニットを接続するためのコネクタです。自動巻き取りユニットとマウンタを同時に設置する場合に使用します。接続ケーブルは自動巻き取りユニットに同梱されています。

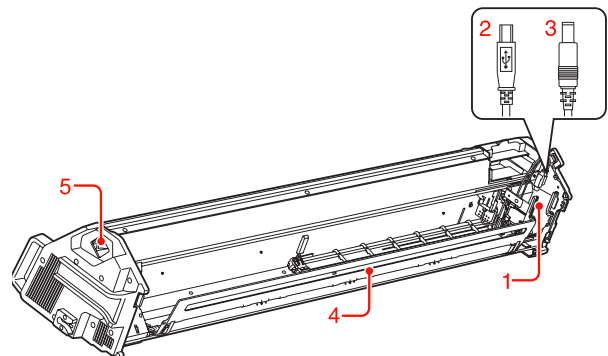
> **参考**
> 自動巻き取りユニットは、B0 プラス機用のオプションです。
> 自動測色器マウンタ(24)には自動巻取りユニット接続用コネクタはありません。

5. プリンタ接続用コネクタ
プリンタ本体にマウンタを接続するためのコネクタです。
接続ケーブルは本製品に同梱されています。

6. ランプ
自動測色器の状態を表します。詳細は下表をご覧ください。

点灯	本製品の電源が入っていて、使用可能な状態です。
点滅	動作中またはエラー発生状態です。 エラー内容はプリンタの操作パネルで確認できます。
消灯	本製品の電源が切れています。 またはスリープモードになっています。

> **参考**
> 本製品に電源スイッチはありません。
> 本書 8 ページ「電源の入 / 切の方法」

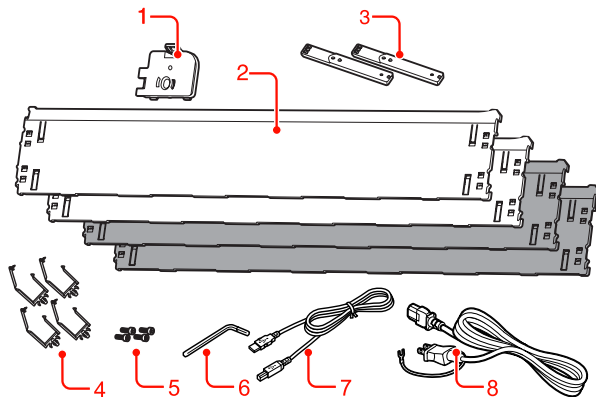
マウンタ(底面)

1. 測色器キャリッジ
測色器を左右に移動させる部分です。

2. ミニ USB 接続ケーブル
測色器からデータを取得する通信ケーブルです。

3.DC ケーブル
測色器に電源を供給するケーブルです。

4. 紙押さえ板
測色時に用紙を押さえて固定します。

5. 電源コネクタ
電源コードの差し込み口です。

付属品

1. 白基準タイルホルダ
白基準タイルを格納します。

2. バッキング
測色器の下敷きとなる板です。黒または白のどちらかをプリンタ本体に取り付けて使用します。

バッキングは自動測色器マウンタ (44) には白・黒 各 2 枚、自動測色器マウンタ (24) には白・黒 各 1 枚が付属します。

3. 装着ガイド
マウンタをプリンタへ取り付ける時のガイドです。

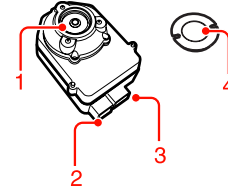
4. クランプ
プリンタのスタンドに取り付けて、接続ケーブルと電源ケーブルを固定します。

5. 六角穴つきネジ
装着ガイドをプリンタ本体に取り付けるネジです。

6. 六角レンチ
六角穴つきネジを取り付ける際に使う工具です。

7. プリンタ接続用ケーブル
プリンタ本体にマウンタを接続するケーブルです。

8. 電源コード
マウンタに接続して使用する電源コードです。

測色器（ILS20EP/ILS20EPUV）

1. レンズ
測色時に印刷物をここからスキャンします。

2. 接続用コネクタ（DC）
マウンタ（底面）にある測色機キャリッジの DC ケーブルに接続します。

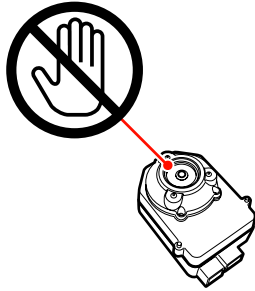
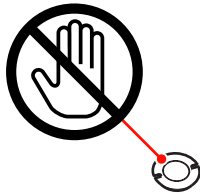
3. 接続用コネクタ（ミニ USB）
マウンタ（底面）にある測色機キャリッジのミニ USB ケーブルに接続します。

4. 白基準タイル
測色値の基準となる白いタイルです。
白基準タイルホルダにセットして使用します。

測色器は自動測色器マウンタとは別売りです。用途に応じて ILS20EP または ILS20EPUV をお買い求めください。

取り扱い上のご注意

測色器(ILS20EP/ILS20EPUV)

- 測色器レンズを直接触ったり、下向きに置いたりしないでください。
  傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。

- 白基準タイルの白い面を触らないでください。
  傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。

> **！重要**
> 白基準タイルを割ったりなくしたりしないでください。白基準タイルのみの購入はできません。測色器とセットでご購入いただくことになります。

- 測色器と白基準タイルは必ず購入時に同梱されていたセットでご使用ください。
  工場では測色器と白基準タイルをセットで調整して、同じ番号をつけて出荷しています。複数台ご購入の場合は必ず白基準タイルと同じ番号の測色器をセットでご使用ください。

M252900
00621

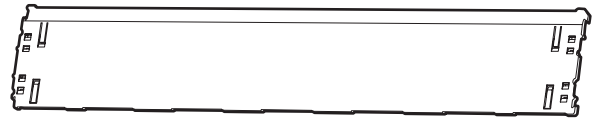
測色器のラベル

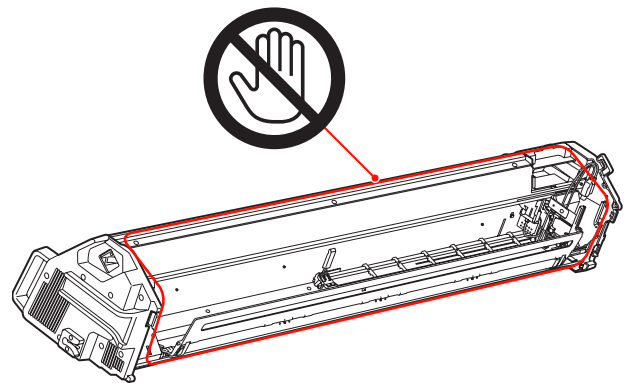
CAL PLAQUE
000621

白基準タイルのラベル

バッキング

バッキングの表面を傷付けたり、汚したりしないでください。
傷や汚れが付くと測色結果に影響を及ぼすことがあります。

> **！重要**
> バッキングは大変壊れやすい部品です。落としたり、ぶつけたりしないでください。

マウンタ

電源が入っているときは、下図の部分には触らないでください。
マウンタ内部への不必要な接触は機器の動作に支障をきたすおそれがあります。

本製品の使い方

本製品はプリンタに装着して使用する自動測色システムです。対象プリンタは、カタログやプリンタの取扱説明書でご確認ください。

ここでは、本製品のソフトウェア CD-ROM に収蔵されている自動測色器ユーティリティを使用した手順を説明します。

！重要

- 自動測色器ユーティリティをご使用の場合は、エプソン製プリンタドライバのインストールが必要です。エプソン製プリンタドライバ非対応の製品ではお使いいただけません。
- 自動測色器ユーティリティ以外のツールをご使用の場合も、手順②の自動測色器の初期設定は必ず行ってください。
  本書 8 ページ「初期設定」

作業の流れ

①プリンタの確認
プリンタ本体のセットアップ（本体セットアップ、プリンタドライバインストール）が完了し、電源が入って使用できる状態になっていることを確認してください。

②自動測色器 の初期設定 本書 8 ページ「初期設定」
自動測色器 の初期設定を行います。

③カラーキャリブレーション 本書 9 ページ「カラーキャリブレーション」
自動測色器ユーティリティから自動測色器用 ColorBase を起動してプリンタのキャリブレーションを行います。

④測色 本書 10 ページ「測色ジョブの作成と実行」
自動測色器ユーティリティで［測色ジョブの作成と実行］を起動して実行する作業を選択します。
また、［ジョブの状態確認］を起動すると、現在実行中のジョブの状態が確認できます。

詳細は各画面上のヘルプをご覧ください。

電源の入 / 切の方法

本製品には電源を入れたり切ったりするためのスイッチはありません。

AC100V のコンセントに電源コードのプラグを差し込むと、電源が入ります。

同様に電源コードのプラグを抜くと、電源が切れます。

!重要
本製品を使用するときは、本製品の電源コードをコンセントに差し込んでからプリンタ本体の電源を入れてください。プリンタ本体の電源を先に入れると、本製品が正常に動作しません。

対応用紙

プリンタで使用できる用紙の一部は、本製品では使用できません。

本製品の対応用紙は、自動測色器ユーティリティのヘルプ、またはプリンタ本体の取扱説明書でご確認ください。

初期設定

本製品の設置後、使用開始前に初期設定を行ってください。この設定はセットアップ時に一度だけ行い、マウンタを脱着するたびに行う必要はありません。

設定にはプリンタ本体に添付されている同梱ロール紙（MC 厚手マット紙ロール）を使用します。

参考
同梱ロール紙が手元にないときは、以下のエプソン製専用ロール紙の中から、お使いのプリンタに対応しているものを選んで使用してください。
- **プロフェッショナルフォトペーパー < 厚手光沢 >**
- **プロフェッショナルフォトペーパー < 厚手半光沢 >**
- **MC 厚手マット紙ロール**
- **PX/MC プレミアムマット紙ロール**
- **MC 画材用紙ロール**

他の用紙種類では正しい測色結果が得られないことがあります。

設定手順は以下の通りです。

1 プリンタ本体にロール紙をセットします。

ロール紙のセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

!重要
ロール紙セットの際には、必ずセットした用紙の用紙種類を正しく設定してください。

2 プリンタ本体の操作パネルで［オプション設定］ー［自動測色器］ー［自動測色器設定］ー［実行］を選択して、OK ボタンを押します。

プリンタが自動で調整パターンを印字・測色して、設定を行いますのでしばらくお待ちください。設定終了まで約 1 分かかります。

プリンタ本体の操作パネルに［印刷可能］が表示されれば初期設定は終了です。

測色の手順

ここでは本製品用の動作ツール自動測色器ユーティリティを使用した測色の作業手順を紹介します。

各設定項目の詳細はヘルプをご覧ください。

自動測色器ユーティリティ 起動手順

自動測色器ユーティリティ の起動手順は、以下の通りです。

Windows の場合

［スタート］－［すべてのプログラム］－［自動測色器ユーティリティ］－［自動測色器ユーティリティ］の順にクリックします。

Mac OS X の場合

［ハードディスク］－［アプリケーション］（Applications）フォルダー［自動測色器 ユーティリティ］フォルダー［自動測色器 ユーティリティ］アイコンの順にダブルクリックします。

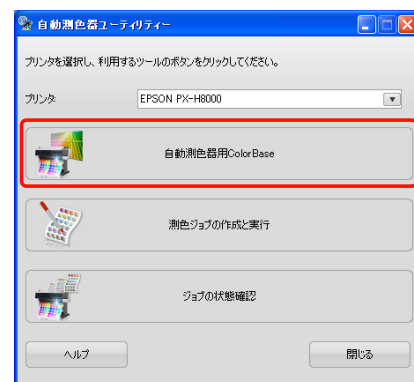
カラーキャリブレーション

自動測色器ユーティリティでは、高精度で色差が少ない印刷品質を保持するためにカラーキャリブレーションを実施できます。

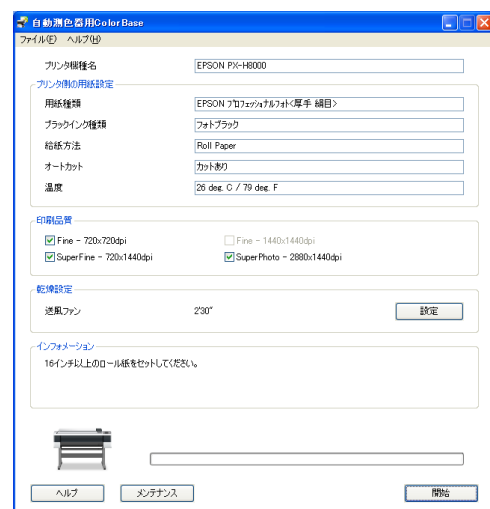
2 週間～ 1 カ月に 1 度、定期的にカラーキャリブレーションを行うことをお勧めします。

1 **自動測色器ユーティリティ を起動します。**

本書 9 ページ「自動測色器ユーティリティ 起動手順」

2 **［自動測色器用 ColorBase］をクリックします。**

参考

自動測色器用 ColorBase は、Windows の場合はプリンタドライバのユーティリティ画面から、Mac OS の場合は［EPSON Printer Utility 3］からも起動できます。

3 **ウィザードに従ってカラーキャリブレーションを行います。**

各設定項目の詳細は［ヘルプ］をクリックすると表示されます。

以上で終了です。

測色ジョブの作成と実行

以下に、[測色ジョブの作成と実行] を使用した基本的な測色手順を紹介します。

各設定項目の詳細はヘルプをご覧ください。

1 **プリンタの電源を入れ、プリンタ及び本製品を使用可能な状態にします。**

初めて使用するときは初期設定を行ってください。

☞本書 8 ページ「初期設定」

必要に応じメンテナンスを行ってください。

☞本書 11 ページ「測色関連部品の クリーニング」

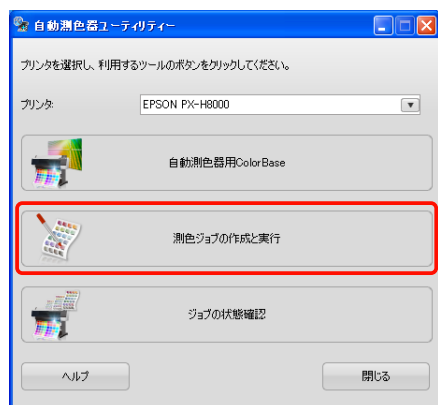
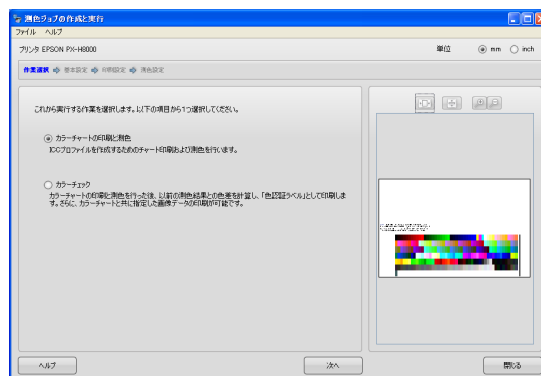
2 **プリンタに用紙をセットします。**

本製品の対応用紙は、自動測色器ユーティリティのヘルプでご確認ください。

用紙のセット方法は、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

3 **自動測色器ユーティリティ を起動します。**

☞本書 9 ページ「自動測色器ユーティリティ 起動手順」

4 **[測色ジョブの作成と実行] をクリックします。**

5 **実行する作業を選択します。**

以降はそれぞれの作業のウィザードに従って設定を行ってください。

各設定項目の詳細は [ヘルプ] をクリックすると表示されます。

ICC プロファイルは自動測色器ユーティリティだけでは作成できません。作成用ソフトウェアが別途必要です。

以上で終了です。

メンテナンス

測色関連部品のクリーニング

測色値に異常が見られるときは、本製品のお手入れをしてください。また、いつでも良い状態で使用できるように、定期的（1ヶ月に 1 回程度）に本製品のお手入れをしてください。

クリーニング手順

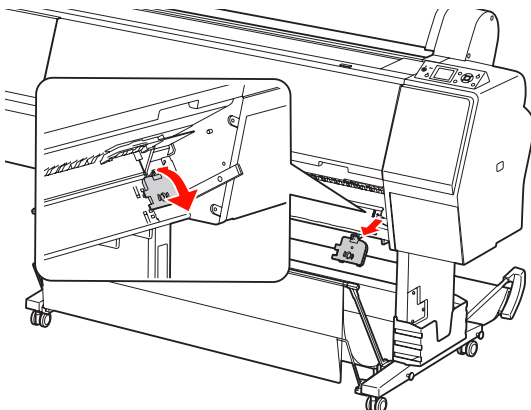
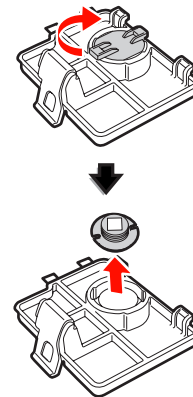
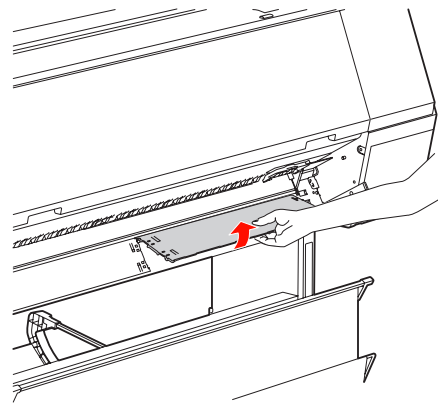
次の 3 部品のクリーニングをします。

- バッキング表面
- 白基準タイル表面
- 測色器レンズ

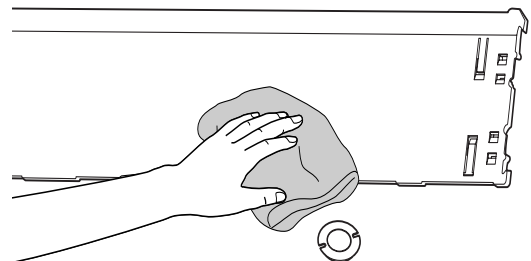
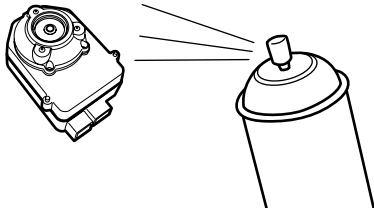
手順は以下の通りです。

1 **測色器及びマウンタをプリンタから取り外します。**

☞本書 13 ページ「マウンタの取り外し方」

2 **白基準タイルホルダをプリンタから取り外します。**

3 **白基準タイルホルダから、白基準タイルを取り外します。**

4 **バッキングをプリンタから取り外します。**

> **!重要**
> バッキングは大変壊れやすいので、取り外すときは床などに落とさないよう注意してください。

5 **乾いた柔らかい布で、白基準タイル表面やバッキング表面の汚れをふき取ります。**

汚れがひどいときは水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

6 **OA 機器などのホコリ除去用エアスプレーで測色器のレンズのホコリなどを吹き飛ばします。**

> **重要**
> 測色器レンズには触れないでください。

7 **バッキングをプリンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

8 **白基準タイルを白基準タイルホルダに戻し、プリンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

9 **マウンタをプリンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

10 **測色器をマウンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

以上で終了です。

測色器の校正

測色器は年に一度校正に出すことをお勧めします。

詳細はお買い求めいただいた販売店、またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

本書 22 ページ「各種お問い合わせ先」

測色器を校正に出すときは、以下の点にご注意ください。

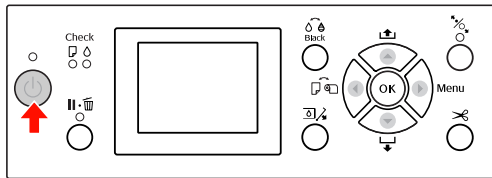
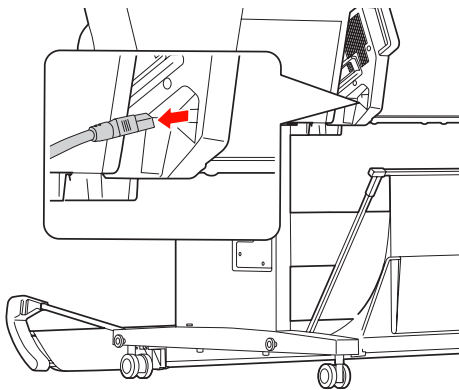
- 校正は白基準タイルと測色器をセットにして出します。

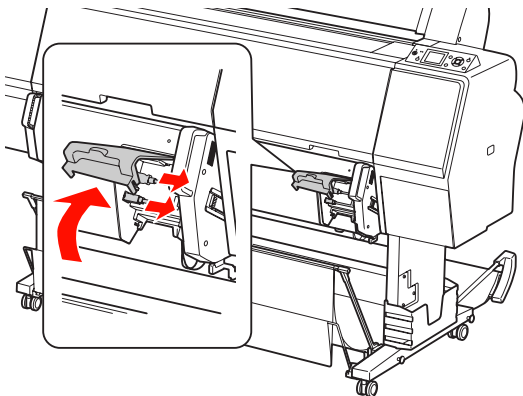
> **重要**
> 工場では測色器と白基準タイルをセットで調整して、同じ番号をつけて出荷しています。必ず白基準タイルと同じ番号の測色器をセットで校正に出してください。

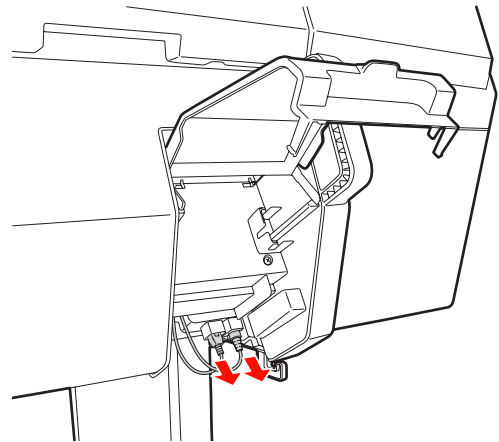
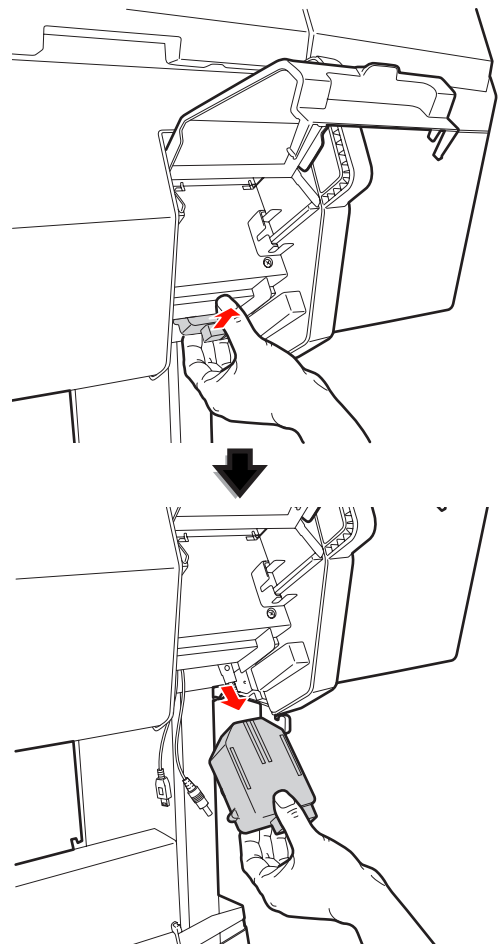
- 購入時の箱を使用して梱包してください。

マウンタの取り外し方

プリンタ本体/マウンタの輸送またはメンテナンス時は以下の手順でマウンタを取り外して下さい。

1 プリンタの電源を切ります。

2 マウンタから電源コードを抜きます。

3 カバーを開け、プリンタ接続用ケーブルと自動巻き取りユニット接続用ケーブルを取り外します。

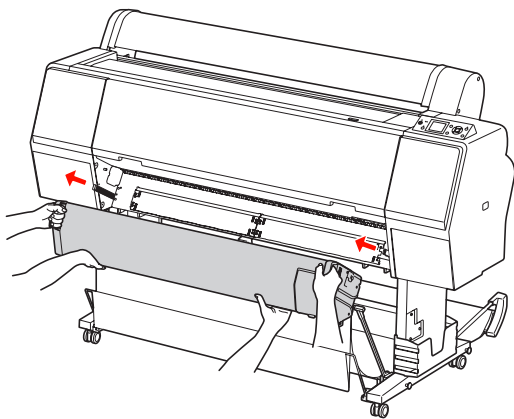
!重要
- マウンタを取り外す前に測色器を取り外してください。測色器を取り付けたままマウンタを取り外すと、マウンタを置いたときに測色器のレンズが傷付くおそれがあります。
- 測色器レンズには触れないでください。

参考
自動巻き取りユニットは、B0 プラス機用のオプションです。自動測色器マウンタ（24）には自動巻き取りユニット接続用コネクタはありません。

4 測色器に接続されているケーブル 2 本を抜きます。

5 測色器の後部を持って手前に少し持ち上げてから、取り外します。

!重要
測色器を取り外すときは、床などに落とさないように注意してください。測色器のレンズが傷ついたり、測色器が壊れたりするおそれがあります。

6 **カバーを閉じて、マウンタをプリンタから取り外します。**

取っ手に手を掛けて、２人で持ち上げてください。

⚠警告

- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品の移動と輸送

本製品を輸送するときは、セットアップガイドを参考に購入時と同じ状態に梱包してください。

再梱包手順

☞自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

マウンタと測色器の取り外し方

☞本書 13 ページ「マウンタの取り外し方」

困ったときは

プリンタのパネルにエラーメッセージが表示される

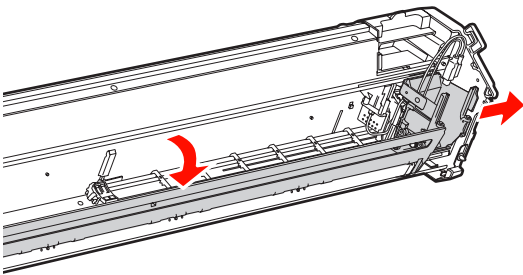
本製品に関するエラーが発生したときは、プリンタの操作パネルのメッセージでお知らせします。メッセージの内容、対処方法はプリンタ本体の取扱説明書を参照してください。

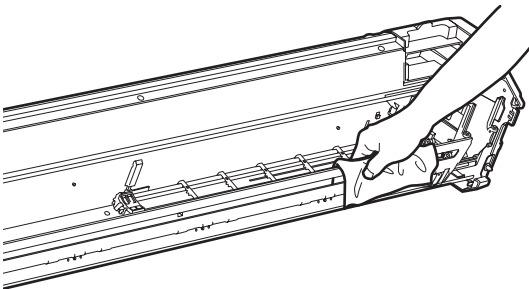
用紙の表面または裏面にインクが付着する

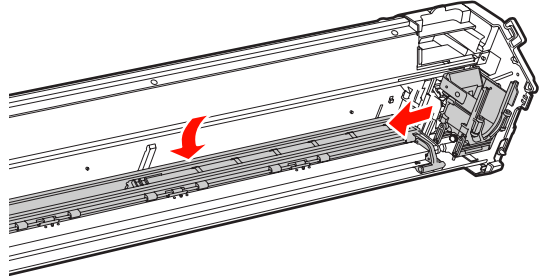
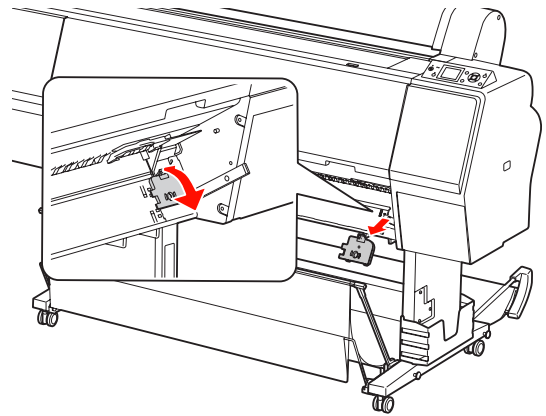
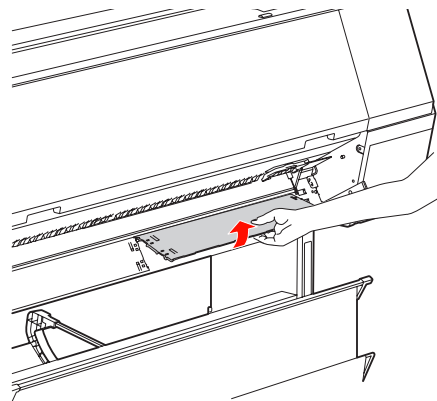
紙押さえ板またはバッキングにインクが付着し、用紙に転写されている可能性があります。このようなときは、以下の手順により紙押さえ板とバッキングのクリーニングをしてください。

1 **マウンタをプリンタから取り外し、マウンタ底面が手前を向くように置きます。**

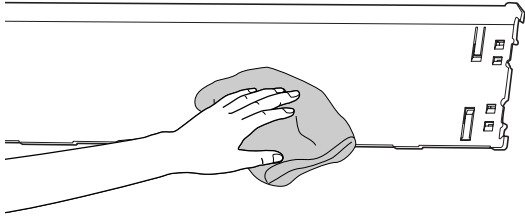
本書 13 ページ「マウンタの取り外し方」

2 **測色器キャリッジを右側いっぱいに移動し、紙押さえ板を手前に起こします。**

3 **中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってから図のようにふきます。**

その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

4 **紙押さえ板を奥に戻し、測色器キャリッジを左側に当たるまで寄せます。**

紙押さえ板が固定され、マウンタを持ち上げたときに倒れなくなります。

5 **白基準タイルホルダをプリンタから取り外します。**

6 **バッキングをプリンタから取り外します。**

> **!重要**
> バッキングは大変壊れやすいので、取り外すときは床などに落とさないよう注意してください。

7 **バッキング表面の汚れをふき取ります。**

水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふいてください。その後、乾いた柔らかい布で水気をふいてください。

8 **バッキングをプリンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

9 **白基準タイルホルダをプリンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

10 **マウンタをプリンタに取り付けます。**

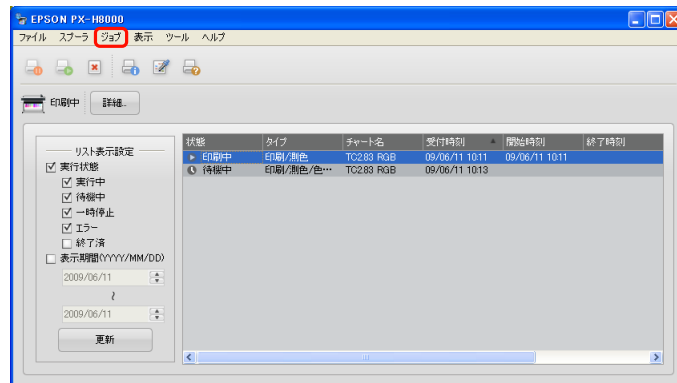
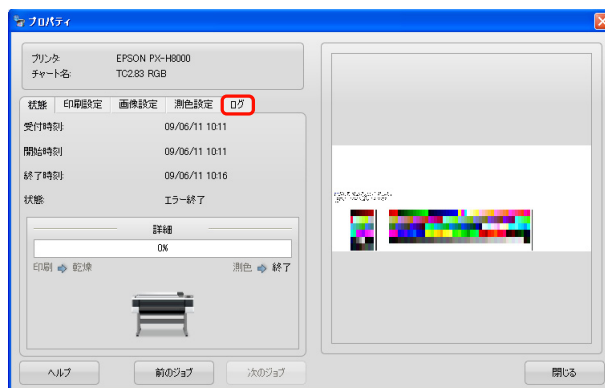
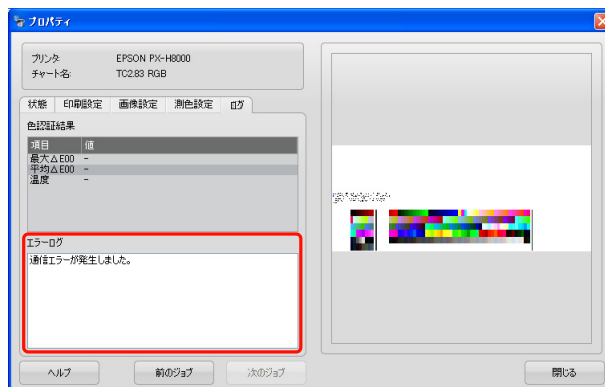
自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

11 **測色器をマウンタに取り付けます。**

自動測色器マウンタ（24）/（44）セットアップガイド（冊子）

自動測色器ユーティリティがエラー終了したとき

［測色ジョブの作成と実行］で実行中の作業の［状態］が［エラー終了］になったときは、［ジョブの状態確認］を起動してエラー内容を確認してください。
エラーメッセージの確認方法は以下の通りです。

1 **実行中の作業画面で［ジョブ］－［プロパティ］を選択します。**

2 **［ログ］タブをクリックします。**

3 **［エラーログ］に表示されたメッセージを確認します。**

各エラーの対処方法は以下の通りです。

エラーメッセージはジョブをキャンセルした場合やプリンタ本体にエラーがあった場合などにも表示されます。

エラーメッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました。	プリンタ本体の電源を切って通信ケーブルの状態を確認してください。 通信ケーブルが抜けたり、配線が間違ったりしているときは正しく接続して、プリンタ本体の電源を入れ直してください。
測色に失敗しました。	印刷物にノズル抜けなどの異常がないか確認してください。 異常があるときはプリンタ本体の状態を確認してください。 プリンタ本体の操作については、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。
プリンタエラーによりキャンセルしました。	プリンタ本体の操作パネルのメッセージをご確認の上、プリンタエラーを解除してください。 プリンタ本体の操作については、プリンタ本体の取扱説明書を参照してください。
自動測色器エラーによりキャンセルしました。	本製品の状態をご確認の上、必要であればお手入れをしてください。 本書 11 ページ「メンテナンス」
測色結果を保存できませんでした。	データを保存するコンピュータにメモリが十分ないときは、メモリを確保してください。 データを上書き保存するときは、ファイルの属性が書き込み可能になっているか確認してください。

測色データに異常を感じるとき

保存した測色データに異常が感じられるときは、自動測色器本体の状態を確認し、必要に応じてメンテナンスをしてください。

本書 11 ページ「メンテナンス」

メンテナンスをしてもトラブルが解消できないときは、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。

本書 22 ページ「各種お問い合わせ先」

付録

自動測色器ユーティリティの削除

ここでは自動測色器ユーティリティを削除（アンインストール）する方法を説明します。

Windows 2000/Windows XP の場合

1 **自動測色器ユーティリティを終了します。**

2 **[コントロールパネル]を開き、[プログラムの追加と削除]（または[アプリケーションの追加と削除]）を起動します。**

3 **[自動測色器ユーティリティ]をクリックし、[変更と削除]をクリックします。**

以降は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。

以上で終了です。

Windows Vista の場合

1 **自動測色器ユーティリティを終了します。**

2 **[スタート]－[コントロールパネル]の順にクリックします。**

3 **[プログラム]をクリックします。**

4 **[プログラムと機能]をクリックします。**

5 **[自動測色器ユーティリティ]をクリックし、[アンインストールと変更]をクリックします。**

以降は、画面に表示されるメッセージに従って操作します。

以上で終了です。

Mac OS の場合

1 **自動測色器ユーティリティを終了します。**

2 **本製品のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

3 **Setup アイコンをダブルクリックします。**

4 **画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。**

5 **Setup ダイアログのメニューで[アンインストール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。**

6 **画面の指示に従ってアンインストール作業を最後まで進めます。**

以上で終了です。

！重要

- Windows XP/Windows Vista で削除する場合は、「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。なお、Windows Vista で削除するときに、管理者のパスワードまたは確認を求められることがあります。パスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- Windows 2000 で削除する場合は、管理者権限のあるユーザー（Administrators グループに属するユーザー）でログオンしてください。

システム条件

本製品を使用するためのコンピュータおよびシステムの推奨条件はソフトウェアの ReadMe.txt をご覧ください。

!重要
自動測色器ユーティリティをご使用の場合は、エプソン製プリンタドライバのインストールが必要です。

本製品の仕様

総合仕様	
温度	動作時：10 ～ 35 ℃ 保存時（開梱前）：－ 20 ～ 60 ℃ （60 ℃の場合 120 時間以内、40 ℃の場合 1ヵ月以内） 保存時（開梱後）：－ 20 ～ 40 ℃ （40 ℃の場合 1ヵ月以内）
湿度	動作時：30 ～ 80%（非結露） 保存時（開梱前）：5 ～ 85%（非結露） 保存時（開梱後）：5 ～ 85%（非結露）
測色保証範囲	温度：20 ～ 26 ℃ 湿度：35 ～ 65 %
質量	自動測色器マウンタ（44）：約 13.5 Kg（付属品、測色器を除く） 自動測色器マウンタ（24）：約 9.0 Kg（付属品、測色器を除く）
外形寸法	自動測色器マウンタ（44）：1295（幅）× 199（奥行き）× 267（高さ）mm 自動測色器マウンタ（24）：787（幅）× 199（奥行き）× 267（高さ）mm

測色器仕様	
型番	X-Rite ILS20EP, ILS20EPUV
測定幾何条件	0° / 45° ANSI / ISO 5.4
測定アパーチャ	直径 3.55mm
光源	タングステンランプ 2850° K
分光	測定：16 ポイント 出力：31 ポイント
視野角	2° / 10°
光源タイプ	A, C, D50, D55, D65, D75, F2, F7, F11, F12
分光波長域	400-700nm
測定範囲	0-150% R（反射）
繰り返し精度	Max 0.2 dE cmc / 白タイル Max 0.8 dE cmc / 黒タイル
器差	Ave 0.5 dE cmc / 12BCRA タイル ILS20EP 基準 Ave 1.0 dE cmc /12BCRA タイル ILS20EP 基準
推奨校正頻度	1 回 / 年

電気関係仕様		
定格電圧	AC100 ～ 240V	
入力電圧範囲	AC90 ～ 264V	
DC 出力（測色器電源用）	5.5V 1.0A	
定格周波数	50 ～ 60Hz	
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz	
定格電流	自動測色器マウンタ（44）：	0.3A/100V
	自動測色器マウンタ（24）：	0.25A/100V
消費電力	自動測色器マウンタ（44）：	動作時 約 10.5W レディ時 約 5W スリープモード時 約 3.5W
	自動測色器マウンタ（24）：	動作時 約 8.5W レディ時 約 5W スリープモード時 約 3.5W

索引

D

I

え

か

く

こ

し

せ

そ

て

と

は

ふ

ま

み

ら

ろ

各種お問い合わせ先

●エプソンのホームページ http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

・松本修理センター:0263-86-7660 ・東京修理センター:042-584-8070 ・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 **050-3155-7150** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/

●エプソンインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム ＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求め下さい。（2009年7月現在）

エプソン販売株式会社 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(インク)2009. 07